

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8 13	認知症介護についての知識・技術は経験的に体得しているスタッフが多いが、専門職として、今後も根拠のある支援に努める必要があると考える。今後もさらに利用者さまの高齢化、身体的な低下を余儀なくされる中で、暮らしを守ることの大切さを考えて生きたい。また権利擁護や尊厳を守る支援につなげていきたい。	私たちスタッフの支援が、利用者さまの生活を守るべき視点で常にあるように必要な専門知識・技術を一人一人のスタッフが修得する。	普通の暮らしとは何かを常に問い、カンファレンスなどで個々の利用者さまの生活について考える。内部や外部の研修に積極的に参加し必要な知識・技術の修得に務める。修得したものが利用者さまの生活の質の向上につながっているか、各スタッフ間で検討し、共有していく。	12ヶ月
2	4 5 11 35	徐々に深まってはきていると思うが、家族との連携が今ひとつできていないご家族もあるように感じる。個々のご家族の状況に合わせて、ご家族にもGHの運営、入居者さまへの関心をもって頂けるように情報交換、連携を図っていきたい。	ご家族に、日々の面会や電話連絡、広報誌などを通じて、入居者さまに関心を持って頂く。運営推進会議を活用して、利用者さま、ご家族と共に作るGHを目指して協力体制を確立する。	運営推進会議への参加の啓発。個々のご家族に状況に応じて、受診や衣替え、行事などご家族さまにご協力いただけるところは協働していきたいと考える。	6ヶ月
3	2 29	外出や理美容など、地域の社会資源は活用しているが、地域からの来客や交流があまり図れていない。	今まで以上に、地域の方にグループホーム和らぎ歓びを知って頂き、気軽に立ち寄れる「家」として地域におけるグループホームを確立していきたい。	運営推進会議や外出行事、ホーム内での季節行事、避難訓練などで、地域の方に協力を求めていく。見学にこられる方やボランティアさん、実習生などにも、今まで以上にグループホームの運営に協力して頂く。	ヶ月
4	4 5 35	徐々に深まっては着いていると思うが、家族との連携が今ひとつできていないように感じる。個々のご家族の状況に合わせて、ご家族にもGHの運営に携って頂けるようにしたい。	運営推進会議を活用して、利用者さま、ご家族と共に作るGHを目指して協力体制を確立する。	運営推進会議への参加の啓発。個々のご家族に状況に応じて、受診や衣替え、行事などご家族さまにご協力いただけるところは協働していきたいと考える。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。